



株主の皆様へ

第76期 事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで



北野建設株式会社

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症によってお亡くなりになった皆様には謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様には、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

ここに当社 第76期事業報告（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）をお届けするとともに一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役会長兼社長

北野貴裕

コーポレート
ステートメント

未来を 育てる 人がいる

経営理念

顧客からの信頼を第一に考え、
高品質・高付加価値なものづくりに徹し、
社会の期待に応え、ともに発展する

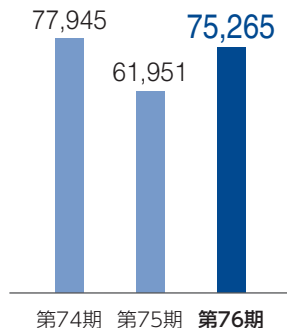
目次

株主の皆様へ	2
営業の概況	3
主な完成工事	5
TOPICS	7
CSR活動	9
連結計算書類	11
単体計算書類	13
会社の概要	14

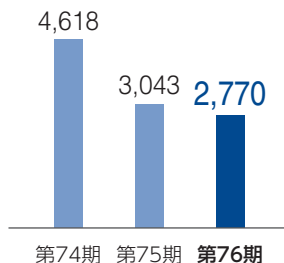
財務ハイライト

(単位：百万円)

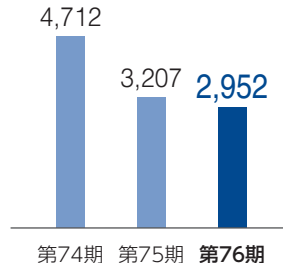
売上高



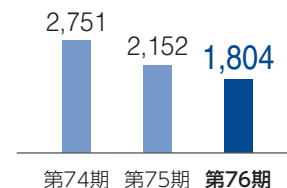
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンド需要の消失、感染拡大防止のための国内経済活動の抑制等、経済の水準はコロナ禍前を下回っており、経済回復は道半ばにあります。経済活動の循環的な要因ではなく、非循環的な外生要因による圧力によるものと考えます。政府は新型コロナウイルス感染症の再拡大を防ぐための「総合的な対策」を推進しているものの、変異株の流行やワクチン接種の遅れ等、未だ予断を許さない状況にあります。現在、経済社会は、感染症の拡大防止と経済社会活動の両立という困難な課題が突きつけられています。

当社グループが主に事業を展開している建設業界においてもコロナ禍対策は例外ではなく、日常の安全・品質管理に加え、作業所における「3密」を避ける作業環境の管理徹底、衛生環境の整備、工事に従事する関係者の日々の体調管理により注意を払い施工管理を行うこととなりました。受注環境におきましては、先行きへの不透明感からの工事の先延ばし等の影響を受けました。しかし、高度成長期に建設されたインフラの老朽化対策等建設業の需要は潜在的に存在しており、一部には、生産性効率化へ向けた設備投

資意欲も見受けられます。これらの受注に向けて同業他社との競争はさらに激化していくものと思われませんが、当社の優位性をもって邁進する所存です。

第77期につきましても、事業計画達成に向け、安定的な受注及び利益の確保、コスト競争力の強化、さらに人材の計画的な育成に取り組んでまいります。また、株主の皆様のご期待に応えるべく、健全な財務体質を堅持し、安定的な配当の実施を継続すること、さらに、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献することが、当社に課された最重要使命であると深く認識し経営努力を続けてまいります。

最後になりましたが、配当金につきましては期末時に期末配当金として、普通株式1株につき、金90円の普通配当に金10円の増配及び令和3年2月の本社新社屋完成を記念し、記念配当10円を加えた合計金110円を実施させていただきます。

今後とも株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当期 連結業績

売上高

752億65百万円
(前年同期比 21.5%増)

営業利益

27億70百万円
(前年同期比 9.0%減)

経常利益

29億52百万円
(前年同期比 7.9%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

18億4百万円
(前年同期比 16.2%減)

当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高752億65百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益27億70百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益29億52百万円（前年同期比7.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益18億4百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

当連結会計年度における当社の受注高につきましては、建築工事の「三共ラヂエーター新拠点計画」、「(仮称) DPL 富山射水 新築工事」、「(仮称) 小宮山印刷ふじみ野工場新築工事」、土木工事の「令和元年度 湯の瀬ダム地点発電所建設工事」等の受注があり、総額では566億75百万円（前年同期比7.7%減）となりました。受注工事の工事別内訳としては、建築工事が約88%、土木工事が約12%となりました。

当社単体の完成工事高におきましては、建築工事の「穂高広域施設組合 新ごみ処理施設建設工事」、「ファンケル

美健サプリメント新工場建設プロジェクト」、「二番町高齢者施設新築工事（仮称 二番町特別養護老人ホーム）」、土木工事の「古川整備工事（その21）」等の完成により、総額では726億61百万円（前年同期比26.6%増）となりました。当社単体の兼業事業売上高につきましては、7億63百万円（前年同期比39.8%減）となり、最終的な当社単体の総売上高は734億25百万円（前年同期比25.1%増）となりました。完成工事の工事別内訳としては、建築工事が約88%、土木工事が約12%であり、発注者別内訳では、官公庁工事が約21%、民間工事が約79%となりました。

次期の繰越工事高としましては、建築工事が382億84百万円（前年同期比27.2%減）、土木工事が101億99百万円（前年同期比14.6%減）となり、全体では484億84百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

当期の受注工事高及び完成工事高の状況

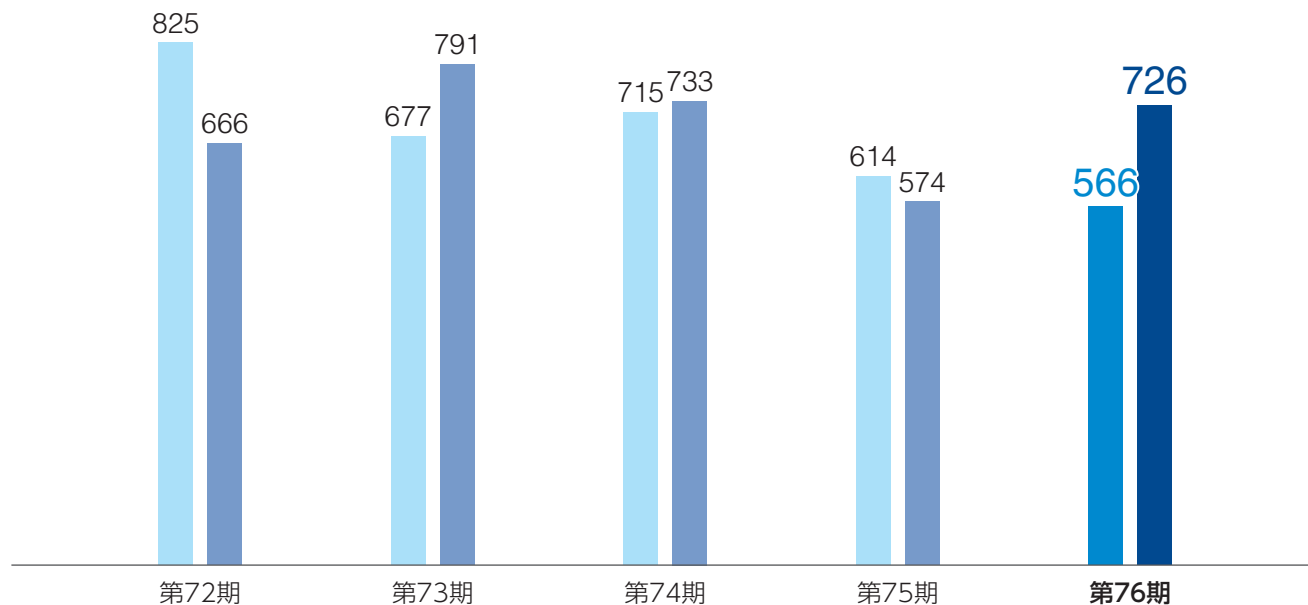
(単位：百万円)

工事別	前期 繰越工事高	当期 受注工事高	計	当期 完成工事高	次期 繰越工事高
建 築	52,560	49,969	102,530	64,245	38,284
土 木	11,909	6,705	18,615	8,415	10,199
計	64,469	56,675	121,145	72,661	48,484

受注工事高・完成工事高の推移

(単位：億円)

■ 受注工事高 ■ 完成工事高



主な完成工事

1

鴻池運輸株式会社 長野営業所新築工事



用途	生産施設
発注者	鴻池運輸 株式会社
設計監理	北野建設 株式会社 一級建築士事務所
施工地	長野県安曇野市
工期	令和2年3月～令和3年2月

2

令和元年度北信広域連合老人 ホーム建設工事（継続事業費）



用途	福祉施設
発注者	北信広域連合
設計監理	株式会社 アーキプラン
施工地	長野県飯山市
工期	令和元年8月～令和3年2月

3

(新) 須坂市学校給食センター 整備運営事業



用途	生産施設
発注者	株式会社 須坂スクールランチサービス
設計監理	梓設計・アーキプラン設計・工事監理共同企業体
施工地	長野県須坂市
工期	平成30年9月～令和2年12月
(※ 施工)	北野・須坂土建特定建設工事共同企業体

4

古川整備工事 (その21)



用途	河川工事
発注者	東京都
設計監理	-
施工地	東京都港区
工期	平成31年1月～令和3年2月

5

(仮称)ポレスター塩尻広丘 吉田新築工事



用途	集合住宅
発注者	株式会社 マリモ
設計監理	株式会社 マリモ
施工地	長野県塩尻市
工期	令和元年5月～令和3年1月

6

松本日産自動車株式会社 本社ビル新築工事



用途	ショールーム、事務所
発注者	松本日産自動車 株式会社
設計監理	株式会社 伊藤建築設計事務所
施工地	長野県松本市
工期	令和元年8月～令和2年12月

7

二番町高齢者施設新築工事 (仮称 二番町特別養護老人ホーム)



用途	福祉施設
発注者	社会福祉法人 平成会
設計監理	株式会社 日建設計
施工地	東京都千代田区
工期	令和元年5月～令和2年11月

8

細田学園中学校・高等学校 校舎建替事業 第2期工事



用途	教育施設
発注者	学校法人 細田学園
設計監理	株式会社 日本設計
施工地	埼玉県志木市
工期	令和元年12月～令和3年1月

1. 近隣の小学生と「桜の木の看板」を共同制作

現在、東京都世田谷区で施工中の「街路築造三宿工事」において、当社と地元が多聞小学校6年生と共同で「桜の木の看板」を作成し、現場近くの池尻北児童遊園に設置しました。(現在は撤去済み)

この共同プロジェクトのテーマは『未来』。桜の花びらは、絵の具で子どもたちの手形をとり、看板の上部にはクラスごとに考えたメッセージを載せました。

看板のデザインである桜は、工事のために伐採したソメイヨシノをイメージしたものです。コロナ禍で様々なイベントが中止になってしまった中、最後の小学校生活に素敵な思い出を作ってほしいと考えました。

(以下、土木事業本部担当者より)

看板設置後に開催した看板見学会では、子どもたちに看板製作のきっかけや道路工事の説明をしました。自分の手形を嬉しそうに探したり、友達と写真を撮る姿を見て、こちらまで嬉しくなりました。土木工事ではイメージアップの一環として様々なイベントを開催していますが、このような看板製作は前例がなく、完成させるまでに大変苦労しました。この看板によって子どもたちだけでなく近隣住民の皆さんにも明るい気持ちになってもらえたのではないかと思います。



2. 「令和元年台風19号」発生時の対応と復旧工事



令和元年10月12日に上陸した台風19号が猛威を振るい、長野市北部では10月13日未明に千曲川の堤防が決壊し、当社の社員やご家族、顧客、協力業者の多くの方が被災される事態となりました。被災に遭われた皆様には改めてお見舞いを申し上げます。

当社では、12日中に災害対策本部を立ち上げBCP（事業継続計画）を発令し、社員・ご家族の安否状況及び各現場の情報を収集し対応の準備を行いました。

13日には実際の被害の状況がわかり、管理部門による社員の安否確認、営業部門による顧客の被害状況収集、現場社員による速やかな応急復旧対応など、対策本部の指示により各担当が対応を行いました。その後、国土交通省及び長野市からの要請を受け、多くの社員が道路の交通誘導や企業ボランティアに参加しました。

復旧工事は令和2年にかけて52件の対応をしており、復旧を遂げた多くの取引先から感謝の言葉をいただいています。

3. 本社新社屋の完成に伴う移転のお知らせ

本社社屋は、一部が建築後50年を経過し老朽化がみられることや、オフィス環境の整備を通じ意思決定のスピードアップや、業務効率の向上を図るため建て替えを行ってまいりました。令和元年5月に移転し、令和3年2月に無事完成いたしましたのでお知らせいたします。

これを機会に社員一同さらに精励し皆様のご期待に応えられるよう精進してまいります。

なお、本社新社屋の完成に際し、感謝の意を表し記念配当10円を加算させていただきました。今後とも株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



撮影：小川重雄

4. 受賞物件



長野県優良技術者表彰



ホクト文化ホール天井等改修工事



平成29年度 防災・安全交付金（道路）工事



(一社) 公共建築協会
公共建築賞
「公共建築賞・優秀賞」



長野市第一庁舎・長野市芸術館



国土交通省
関東地区整備局感謝状



R1 国道18号長野出張所管内道路冠水被害
応急対策（その1）業務



東京都建設局優良工事表彰局長賞
古川整備工事（その19-4）



令和元年度東京都水道局水道工事
イメージアップコンクール

優秀賞

杉並区本天沼三丁目地先から
同区本天沼二丁目地先間配水本管（600mm）布設替工事

北野建設グループは、事業活動を通じ経営理念の具現化を実践するとともに、社会からの信頼に誠実に向き合い、持続的な発展に貢献することを目指します。

地域社会への取り組み・社会貢献事業

＞ スポーツ振興

ウィンタースポーツが盛んな長野を拠点とする企業として、冬季競技の普及振興に寄与するためスキー部を創設し、今年で節目の50年目を迎えました。

これまでスキー競技やポプスレー競技で数多くの選手を輩出し、冬季オリンピック競技においては1972年札幌大会から13大会連続で選手やコーチを日本代表として派遣しメダルの獲得や入賞を果たしてきました。2021（令和3）年4月にはジャンプの丸山希選手が加入し、今シーズンより4名で活動してまいります。選手たちの活躍にご期待ください。



渡部暁斗選手
(ノルディック複合)



渡部善斗選手
(ノルディック複合)



岩渕香里選手
(ジャンプ)



丸山希選手
(ジャンプ)

＞ 文化芸術事業

地域文化の発展に寄与するため、長野市の善光寺表参道沿いに歌舞伎座を思わせる外観の北野文芸座を建設し、本格的な伝統芸能上演の場として様々な公演を提供しています。

また、地域の文化発信拠点として皆様に親しまれている北野美術館・北野カルチュラルセンターの運営支援を行っています。

コロナ禍で残念ながら文芸座公演の延期・中止等ありましたが、これからも安心安全な運営に努め、地域の皆様の希望となれるよう、明るい話題を提供してまいります。



北野文芸座



北野美術館

＞ 社会貢献事業

経済的理由で就学が困難となっている向学心の高い学生に対する奨学金の無償給付や、文化団体やスポーツ競技団体への助成等を通じて、学術・文化・スポーツ活動の発展等に寄与することを目的とし、2019（平成31）年2月に北野財団を設立しました。北野建設は当財団の活動を支援し、より一層、社会貢献事業を推進していきます。

社会課題に対する取り組み

＞SDGsへの取り組み

国際社会の共通の目標であるSDGsに積極的に貢献するために、北野建設では2020（令和2）年1月に『北野建設グループSDGs宣言』を策定しました。2020（令和2）年4月には、長野県よりSDGsの達成に意欲的に取り組む県内企業として『長野県SDGs推進企業』の登録を受けました。

環境への配慮として、工事における建設廃棄物のリサイクル率向上やCO₂の排出量削減に努めるとともに、お客様にも省エネ設備の設置を推奨しています。2014（平成26）年よりグループ企業の川中嶋カントリークラブが使用していたコースの一部を活用した太陽光発電事業も行っており、再生可能エネルギーの普及に貢献しています。今後もSDGsをはじめ、幅広く社会課題に対応していきます。



川中嶋太陽光発電所

＞働き方改革への取り組み

当社は2021（令和3）年3月に経済産業省より『健康経営優良法人2021（大規模法人部門）』の認定を受けました。また、女性活躍推進の状況が優良な企業として『えるぼし（2段階目）』を取得することができました。これからも多様化する社会に則し、働きやすい職場づくりを推進します。



地域密着型経営

企業市民として地域の発展に多角的に貢献することを目指し、グループ企業として(株)アサヒエージェンシー（広告代理店事業）、川中嶋土地開発(株)（川中嶋カントリークラブ、ゴルフ場事業）、(株)キタノプロパティ（ホテル事業、料飲事業、ビルメンテナンス事業、警備事業）、(株)ライフプラス（別荘管理事業）を擁し、地域社会におけるサービスの提供や雇用の創出を推進しています。なお、2016（平成28）年11月より、長野駅前に当社施工で全室フルリニューアルオープンした長野東急REIホテルは、ビジネスからレジャーまで幅広いニーズでご利用いただいております。



長野東急REIホテル

国際的な事業活動

＞海外ホテル事業

地域の発展に寄与することを目的に南太平洋やアジアにホテルを展開してきました。ソロモン諸島随一の国際級ホテルとして確固たる地位を築いたソロモンキタノメンダナホテル、プロジェクトの企画段階から参画したベトナムのホテルデュパルクハノイは、北野建設グループのグローバルで多角的な事業活動の一翼を担っています。



ソロモンキタノメンダナホテル



ホテルデュパルクハノイ

連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (令和2年3月31日現在)	当期 (令和3年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	30,910	38,834
現金及び預金	9,425	12,998
受取手形・完成工事未収入金等	14,753	18,975
有価証券	24	16
販売用不動産	3,260	3,242
未成工事支出金	1,029	1,307
開発事業等支出金	67	78
その他のたな卸資産	59	53
その他	2,322	2,192
貸倒引当金	△ 33	△ 29
固定資産	26,051	30,814
有形固定資産	18,042	20,998
建物及び構築物	12,491	16,196
機械装置及び運搬具	2,721	2,649
工具、器具及び備品	2,935	2,980
コース勘定	770	770
土地	10,032	10,073
建設仮勘定	518	0
その他	73	97
減価償却累計額	△ 11,501	△ 11,770
無形固定資産	233	201
その他	233	201
投資その他の資産	7,775	9,613
投資有価証券	5,534	6,729
長期貸付金	65	75
退職給付に係る資産	569	923
繰延税金資産	51	30
その他	1,588	1,888
貸倒引当金	△ 33	△ 33
資産合計	56,961	69,649

科目	前期 (令和2年3月31日現在)	当期 (令和3年3月31日現在)
[負債の部]		
流動負債	19,650	30,045
支払手形・工事未払金等	12,979	11,094
電子記録債務	－	6,773
短期借入金	－	4,000
未払法人税等	60	1,046
未成工事受入金	4,972	4,741
開発事業等受入金	5	10
賞与引当金	284	324
役員賞与引当金	50	50
完成工事補償引当金	40	29
社屋建替損失引当金	35	－
その他	1,220	1,974
固定負債	3,051	3,200
退職給付に係る負債	60	60
会員預託金	1,950	1,836
繰延税金負債	749	1,000
その他	290	303
負債合計	22,701	33,246
[純資産の部]		
株主資本	32,588	33,751
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	3,188	3,188
利益剰余金	22,201	23,384
自己株式	△ 1,918	△ 1,938
その他の包括利益累計額	1,182	2,153
その他有価証券評価差額金	1,132	1,985
繰延ヘッジ損益	△ 25	16
為替換算調整勘定	166	26
退職給付に係る調整累計額	△ 91	124
非支配株主持分	490	498
純資産合計	34,260	36,403
負債純資産合計	56,961	69,649

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)
売上高	61,951	75,265
売上原価	54,281	68,002
売上総利益	7,669	7,262
販売費及び一般管理費	4,625	4,492
営業利益	3,043	2,770
営業外収益	286	296
営業外費用	123	114
経常利益	3,207	2,952
特別利益	0	10
特別損失	3	9
税金等調整前当期純利益	3,204	2,953
法人税、住民税及び事業税	788	1,309
法人税等調整額	245	△ 171
当期純利益	2,170	1,815
非支配株主に帰属する当期純利益	17	11
親会社株主に帰属する当期純利益	2,152	1,804

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)
当期純利益	2,170	1,815
その他の包括利益	△ 746	970
その他有価証券評価差額金	△ 554	852
繰延ヘッジ損益	△ 25	42
為替換算調整勘定	△ 42	△ 140
退職給付に係る調整額	△ 123	215
包括利益	1,424	2,786
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	1,406	2,775
非支配株主に係る包括利益	17	10

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,491	4,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,579	△ 3,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 833	3,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	△ 133
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 958	3,602
現金及び現金同等物の期首残高	9,792	8,834
現金及び現金同等物の期末残高	8,834	12,436

連結株主資本等変動計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,116	3,188	22,201	△1,918	32,588	1,132	△25	166	△91	1,182	490	34,260
当期変動額												
剰余金の配当			△621		△621							△621
親会社株主に帰属する当期純利益			1,804		1,804							1,804
自己株式の取得				△20	△20							△20
自己株式の処分					—							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						852	42	△139	215	970	8	979
当期変動額合計	—	—	1,183	△20	1,163	852	42	△139	215	970	8	2,142
当期末残高	9,116	3,188	23,384	△1,938	33,751	1,985	16	26	124	2,153	498	36,403

単体計算書類

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (令和2年3月31日現在)	当期 (令和3年3月31日現在)
〔資産の部〕		
流動資産	26,512	34,809
固定資産	24,192	29,312
有形固定資産	13,419	16,733
無形固定資産	113	95
投資その他の資産	10,660	12,483
資産合計	50,704	64,122
〔負債の部〕		
流動負債	19,145	29,681
固定負債	639	827
負債合計	19,784	30,508
〔純資産の部〕		
株主資本	29,816	31,614
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	2,535	2,535
利益剰余金	20,082	21,901
自己株式	△ 1,918	△ 1,938
評価・換算差額等	1,103	1,998
純資産合計	30,920	33,613
負債純資産合計	50,704	64,122

損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	当期 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)
売上高	58,681	73,425
売上原価	52,134	66,446
売上総利益	6,546	6,978
販売費及び一般管理費	3,609	3,696
営業利益	2,937	3,282
営業外収益	251	332
営業外費用	50	77
経常利益	3,138	3,537
特別利益	0	10
特別損失	2	9
税引前当期純利益	3,136	3,538
法人税、住民税及び事業税	731	1,296
法人税等調整額	253	△ 198
当期純利益	2,151	2,439

会社概要 (令和3年3月31日時点)

社名 北野建設株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 北野貴裕
設立 昭和21(1946)年8月
資本金 91億1,649万円
従業員数 単体515名、連結942名
株式 東京証券取引所市場第一部

事業内容

- (1) 国内外の建設工事の企画・設計・施工管理・コンサルティング
- (2) 地域開発、都市開発、リゾート開発事業
- (3) 再生可能エネルギー事業
- (4) ホテル、劇場、スポーツ施設などの経営

> 役員

代表取締役会長兼社長
執行役員社長

北野 貴裕

取締役専務執行役員

山崎 義勝

取締役常務執行役員

小澤 善太郎

社外取締役

宇田 好文

社外取締役

矢崎 ふみ子

常任(常勤)監査役

滝沢 登

社外監査役 尾和 慶禰

社外監査役 酒井 信喜

社外監査役 西田 孝

執行役員 守安 修一

執行役員 久保 聡

執行役員 南澤 光弥

執行役員 山仲 健司

執行役員 北村 真一

執行役員 小林 政勝

執行役員 塚田 美一

執行役員 岩波 智成

執行役員 丸山 譲

執行役員 梶村 定夫

> ネットワーク

● 本社

長野本社
 長野県長野市県町524 ☎026(233)5111
 東京本社
 東京都中央区銀座1丁目9番2号 ☎03(3562)2331

● 支社

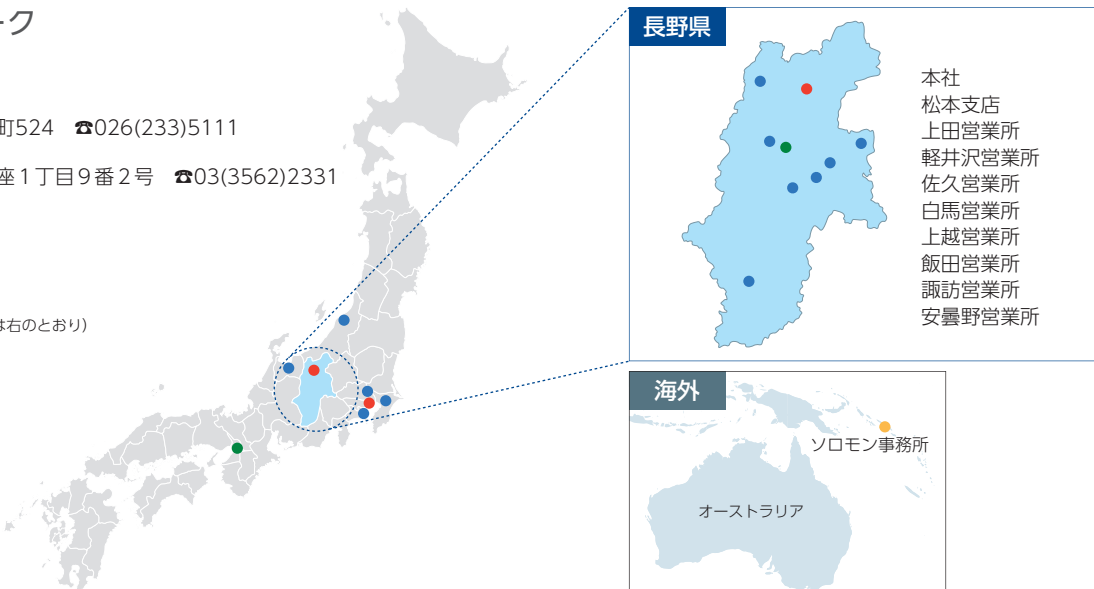
大阪支店
 松本支店

● 営業所 (長野県内は右のとおり)

富山営業所
 横浜営業所
 埼玉営業所
 千葉営業所
 新潟営業所

● 事業所

ソロモン事務所



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞の公告により行う

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 公告の方法は、定款では左記のとおり定めておりますが、会社法の定めにより、金融庁が運営する電子開示システムにおける開示をもって決算公告にかえていきます。
URL : <https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

北野建設CMギャラリーのご紹介

長野県内で放送されている
CMギャラリーを、
当社HPにて公開しております。



> <http://www.kitano.co.jp/corporate/cm.php>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



未来を育てる人がいる



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮した
「ベジタブルインキ」を
使用しています。